夕刊　十一月十日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 / 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠　編輯人 松本朗　印刷人 水越內之介

英支秘密契約曝露す
英の否定にも拘らず 二千萬磅借款確實
關稅、鐵道二收入が擔保條件
計畫は相當深淵か

【北平九日發國通】當地確實なる筋への情報によれば、英國側の否定にも拘らず支那幣制改革に關して英支間には既に秘かに二種の契約が入れられてゐる事決定的である、一は關稅收入を擔保にする一千萬磅借款、二は全支鐵道收入を擔保とする一千萬磅クレヂット設定である、右の如く支那に關係を有する各國の利害を無視して殊に最も深き利害關係ある日本を措き拔き討ち的行動に出た英國の態度は相當深長深淵なる計畫が樹てられ居るものと觀られる

"英國の不信行爲 國を擧げても阻止せん"
―北平武官室高橋武官談―

【北平九日發國通】支那幣制改革は遂に南京政府の擬裝的親日の全貌を露け出した觀があるが殊にその方法たる銀國有を以て北支の經濟を根底から覆さんとするに至つては日本の默視し得ざるところであるが九日夜高橋武官は左の如く語つた

英國の不信行爲の有無はあくまで糺明しなければならぬものだ、南京政府がどうしても銀を引上げるといふなら北支と共同的利害關係にある日本は國を擧げても之を阻止するであらう

"突然の自主的決行 日本として遺憾"
―外務當局態度を表明す―

【東京國通】外務當局は支那の幣制改革に對し昨九日午後六時非公式聲明を發表幣制改革の前途に對する見透しがつかぬので依然成行を注視するとて左の如く聲明して居る

一、抑々改革決行に當つては當局に於る日支關係に鑑みて日本と充分協議して日本の協力を確めた上決行すべきなるに突然自主的に決行を聲明しそれが爲に實施の前途に一抹の不安を與へてゐるのは日本としても遺憾とする次第である

一、改革に關聯して對英借款が喧傳されてゐるが、外國との借款問題は支那側より何等日本に申出でなく支那と英國の兩國より「英支借款は改革とは無關係」なる意を言明してゐるのは當然と言ふべく支那全般の經濟改革は支那が自ら行ふ決意と實行を要し、從來の如く外國よりの借款により經濟的安定を求めるのは到底成功を期し得ぬのみか結局は借款が支那國民の負擔として殘り、支那財政整理を益々困難ならしめるものであり、隨つて日本としては從來之に對して反對態度を取り續けて來たが、今回の如く支那側が自力更生決意表明の場合に於て外國より借款を與へることは此の決意を鈍らせるものなるが故に支那に對しても面白からぬ結果を招來するものと考へる

北平政府
銀國有反對を表明

【北平九日發國通】銀國有の巨彈は全北支の民衆を憤激の頂點に追やり日に增して民衆間に豫てより要望された南京政府との政治的絕緣の聲が高まりつゝあり北支自治の實現が必要として痛感されつゝあり銀國有反對の請願運動は北平に於て銀行、公會や幾多の團體から起つて居り市政府よりは九日夜秦德純氏の名で銀國有取消要請が發せられたが一兩日の中に天津と同樣銀行員の臨時辦法が强行される模樣である

更に新令を公布

【廣東九日發國通】廣東省政府は銀國有令に就き銀行代表と數次に亘り協議を遂げた結果當初の條令に重大變更を加へ昨九日次の新令を公布した

一、現銀は省有とし銀貨並びに銀塊は退藏、隱匿乃至密輸出することを許さず
一、廣東省銀行券並びに廣東市立銀行券を法定通貨とし銀の流通を停止する
一、省、市政府管下の各銀行は銀を集用するが銀集用に際しては名目價値に基き法定紙幣と引替へるものとす
一、銀は其の形體の如何を問はず一切輸出を禁止する
一、政廳は一弗紙幣及び十仙五仙の補助費を發行する

特別行政會議開き 銀輸出禁止決定

【香港九日發國通】香港政廳は九日特別行政會議を開會、銀輸出禁止案を決定、即時發令したが、其內容は左の如し

銀國有令への支那各地の不滿

【上海九日發國通】銀國有令發布に依る民衆の反感を抑壓すべく政府は全國々民黨部を動員して言論の抑壓取締りにあたつてゐるが幾百年來賣買の媒介交換物として珍重され來たつた支那人の銀への愛好と執着は牢固として拔くべからざるものがあり銀國有令の正體が漸次明白となるに至り全國各地方の商取引市場の一大混亂を招致し延いては今度の幣制改革の成功如何が疑はれる、重大なる國難に逢着するに至つた今日之が實證として各地の情勢を綜合するに

一、漢口　當地は銅貨輸送の禁止令發布せられ違反者は通貨混亂の件で處罰せられ、密輸の銅貨は全部沒收されるに決定し市場混亂を呈してゐる

二、鎭江　江蘇省政府は八日命令を發し銀一元に對し小洋十二角、銅幣三百枚と兌換すべく强要、公安局は米商人に對し米穀の貯藏を禁止した

三、鄭州　目下市場流通の銀貨は四百萬元で現在發行の手持紙幣は百萬元に過ぎず、當地中央、中國、交通三銀行現在の財政狀態では銀國有實施不可能の感がある

四、保定　省政府の命令で銅幣の密輸を嚴禁したが爲に一弗につき二百枚方下落した

五、濟南　銀國有令發布と同時に市內在銀高の調査が開始されてゐるが在銀高は銀行百、錢莊七十で總計約三百萬元に達し濟南市商會は現在の財政困難を乘切る爲財政部案で銀貨の輸送及び物價騰貴取締方を請願した

此の外廣東地方では今回銀國有令が經濟的必要より寧ろ政治的效果をねらつた中央の意圖を看破し現銀の廣東省立の省政府に集中しつゝあり恐らく中央への現銀輸送は行ふまいとの觀測が行はれてゐる尙銀の流失を防ぐ爲特別警備隊が組織され市內各地を警戒して居る

我が特別陸戰隊水兵 暴漢に狙擊さる
被害者は病院收容後死亡
上海不祥事件勃發

【上海十日發國通】我が三萬在留同胞の貴き護りを果たす特別陸戰隊員が九日夜陸戰隊本部より僅に數十間離れたばかりの高所に於て何者かの爲めに狙擊され死亡したと云ふ驚くべき一大不祥事件が勃發した、事件の概要は別項陸戰隊本部發表の如くであるが現在不安を孕む時期といひ、場所といひ、狙擊された人物といひ、あらゆる條件は犯罪が極めて計畫的なものであつたことを明白に物語つてゐる、陸戰隊は事件の勃發するや直ちにダラッチ路北四川路方面に非常警戒を布き同方面は忽ち物々しい緊張と殺氣に包まれ異常に切迫した空氣を釀し出したが工部局、公安局側も多數の警官を繰出して警戒の任に就き、深夜街頭の要所要所を固め陸戰隊の建物を中心に不安の夜は更けて行つた

陸戰隊員出動して 非常警戒に就く
工部、公安局も特別警戒網

【上海十日發國通】事件發生と同時に此不祥事の急報に接した特別陸戰隊では直に武裝した大部隊の兵をグラッチ路北四川路一帶に配して水も漏さぬ非常警戒網を張ると共に工部局で警察署及び公安局を督勵して速かに犯人の逮捕を要求した、狙擊現場たるダラッチ路二三六號（廣東人住宅）前方は夥しい鮮血が薄黒く澱んで折柄の月光を反射して一種無氣味な感を抱かしめてゐた、一方陸戰隊員は鐵兜銃劍の緊張した姿で要所々々の警戒に當つた、恰も昭和七年の上海事變當時を思はせるやうな氣漲り嵐の前の靜さにも似た有樣である、なほ陸戰隊の犯人逮捕の要求に接した工部局警察部では田島副總監以下總出動し特に狄思威路警察署では直ちに全署員を非常召集して陸戰隊と共に管內の警戒に當り又公安局で梁北站分局長自ら公安局巡警を指揮して閘北一帶の支那街に特別警戒網を布き擧動不審な通行人に對しては直ちに誰何、訊問身體檢査を行ふ等物々しい捜査陣を展開してゐる

支那側の警戒に滿足出來ねば 獨自立場で行動
―陸戰隊態度を發表―

【上海十日發國通】海軍武官室では陸戰隊發表として左の如く事件の大要を發表した

十一月九日夕方一等水兵中山秀雄が上陸を終り歸途についたところ一時半ダラッチ路左側を通行中道の右側の木の下より何者かに拳銃で射擊され右後頭部から前額部に貫通する重傷を受けその場に昏倒した、犯人は見當付かぬが陸戰隊では直ちに現場附近の警戒配備についた、陸戰隊としては本件は陸戰隊に對する挑戰的態度と認め因つて中國公安局は勿論工部局に對し速かに警戒の實行を要求、目下中國側及び工部局を督促し今夜中にも犯人の逮捕を要求しつゝあるが若し警戒にして滿足出來ぬ場合は陸戰隊は獨自の立場から思ふ存分の行動を採る決意を持つてゐる

"眞相判明次第 能ふ限りの處置を執る"
―荒木司令官談―

【上海十日發國通】荒木陸戰隊司令官は今回の事件突發に就て今暁三時陸戰隊司令官宅に於て左の如く陸戰隊の態度を語つた

未だ眞相が判明しないから態度を決定し得ないが、陸戰隊附近に於て軍服の陸戰隊員を狙擊するとは言語同斷である、要は眞相を明かにする事が必要であつて從つて我々は獨自の立場から出來るだけの處置をとる一方工部局支那側の誠意あるその捜査を要求するが若しその點が不滿足なる場合は獨自の立場で積極的に捜査する、兎も角此の事件は重大問題であるから誠意と眞劍なる捜査を要求する、唯注意すべきはルーマーによつて事を推定したり臆測することは愼んでもらひたい

中野正剛氏 立場を闡明

【東京國通】國民同盟の中野正剛氏は野田文一郎氏提唱の解消論に贊成の態度を持つてゐるもの丶安達總裁との多年の友誼上離黨せずに獨自の立場で進む事に決し、八日夜左の發表を爲した

國同解消には動機は別だが實現には贊成である、形式上の手續きは自然の進行に一任するが自分は今後何物にも束縛されず獨自の信念に立脚して從來の主張通りに進むものだ、勿論政治は全生命とする、今直ちに既成政黨の轝にならい政黨組織に着手はしない、東方會は自分の故郷だ、政治的な團體ではないが政治に方針と熱とを與へる精神團體だ若しそれが國民的政治運動に發展すれば政治團體を別個に組織するは時の問題だ自分は眼前の政權の移動に頓着なく非常時日本の動向を制すべく同志と共に智腦を啓發せんとする（寫眞は中野氏）

日曜隨想　靖亞といふ氣持

又しても支那問題が喧しい。英國の借款、幣制改革、そして北支のゆゝしい形勢これはもう錢湯での噂話やありふれたジャーナル神經の範域のうちにとどめ置くことを許さない、大きな問題であらう。

ところで、冷えきつた北滿の深夜、皎々たる月の下を步きながら私が思つた事は一體今日、支那のことを喧しくいふ人々―わが國の人々が「靖亞」といふ文字を知つてゐるであらうか、靖亞といふ氣持を持つてゐるであらうか、といふ疑問であつた。

「靖」は「やすんず」しづめをさめるの意。われらの先人はまさに亞細亞を靖めしめんがためにこの大陸に立ち働いて來たのであつた「西力の東漸、就中露國の壓迫、それ斯くの如し、今に於て之を抵禦するの道を講ぜずんば東亞の大局を如何せむ、若かず、支那をして覺醒せしめて富强に導き共に起ちて西力の東漸に當り、以て東亞の久安の策を定め、宇內永和の計を成さんには」（山洲根津先生傳一九頁）―これこそが、情勢の變つた今日に於いてもわれらの身うちに傳はる心構へであり、信念であるべきである。

ひるがへつて、われらの四圍を見廻すとき、そこには餘りにも露骨な金儲け主義或ひは又心情良くありながら大局を見るを得ずして眼前の小功にあせる如き、これ國家永遠の策として取るべからざるもの等が時を得顏に橫行してゐるのではあるまいか。しかも、心あるものそれを知りつゝ、敢へてこれを直言し得ない如き現代だとするならば、われらは寂寥たらざるを得ぬ悲憤せざるを得ぬ。

人々に靖亞のこゝろあれ―わたしは切にそれを希ふ。祖國日本と愛する亞細亞のためにさう願ふ。（山口生）

古川達四郎氏 離京

前新京鐵道出張所長古川達四郎氏は十日午前九時發「はと」で家族同伴、多數知友人の見送裡に大連へ向つた

人事往來

▲青木重臣氏（關東局高等課長）九日午後奉天へ
▲藏式毅氏（參議府議長）同奉天へ
▲松本勇平氏（東京會社員）同ヤマトホテル
▲飯倉文甫氏（京城官吏）同
▲中松盛雄氏（東京辯護士）同
▲湯淺三二郎氏（大連技術協會）同
▲井上匡四郎子（東洋工業大會團長）十日午前來京ヤマトホテル
▲加賀山榮氏（同團員）同
▲松永工氏（同）同
▲古宇田實氏（同）同
▲小山朝佐氏（同）同
▲林猶之介氏（同）同
▲杉浦禰三氏（同）同
▲出羽政助氏（同）同
▲吉田永助氏（同）同
▲松田竹太郎氏（同）同
▲箕原勉氏（同）同
▲久野重一郎氏（同）同
▲梶井剛氏（同）同
▲宮本武之助氏（同）同
▲吉田雄司氏（同）同
▲海口守三氏（同）同
▲堤耕作氏（同）同
▲杉浦熊氏（同）同
▲貝瀨謹五氏（同）同
▲羽山喜郎氏（陸軍少佐）同名古屋ホテル
▲鈴木康夫氏（同）同
▲張景惠氏（國務總理）十日午後
▲田中滿洲國體協主事十日午後二時着任
▲若松忠一氏（步兵中佐）九日午後來京國都ホテル
▲永吉芳三氏（土木請負業）同
▲高島太平氏（大阪朝日記者）同
▲加賀幸吉氏（滿洲國官吏）同
▲横川安三郎氏（北滿洲金鑛株式會社）同
▲山本竹三郎氏（會社員）同

光りの彼方に 62
同情（四）　大林梅子作

「そんな譯はありませんわ。志村さんにかぎつて、そんな譯はありませんわ」

多美枝は、うわ言のやうに夢中で繰返した。

「だが、事實がさうなんだから仕方がありませんよ。それで、志村から味に傳言して、貴女にもあきらめて貰ふやうにとのことです」

「そんな譯ありませんわ。そんな譯ありませんわ……」

彼女は、夢中でさう繰返しながら、若しもそれが事實だとしたら一切が破滅だと思つた。そして胸がつぶれるほど苦しくなつた――

志村が果して嬢の戀を容れたであらうか？ 嬢が志村を戀してゐることは、自分も知つてゐる。しかし、自分とあゝいふ約束をした志村が、嬢に其の手をあたへたとは思へない。これは喜代一と嬢で相談したトリックではあるまいか？――恐らくさうだ！ さうに違ひない。と、心に强く否定しながらも、彼女は何となく不安になつてきた。

『とにかく、貴女としてもよく考へて見て下さい。あくまでも、僕の戀を踏みにじつて、志村の許へ行かうと云ふならそれもいゝかも知れないが、しかし志村は、既に嬢と結婚する約束をしたんですから貴女としては、失望するより他にないのだ。して見たらよく考へて見ることですネ』

かういつて、喜代一は多美枝の部屋から出て行つたのです。

多美枝は、喜代一が行つてしまふと、思はずそこへ泣き伏してゐた。そして何時までも何時までも起上らうとはしなかつた。

かの女は。毎日喜代一から聞かされた厭き離い疑問を解からうとあせつてゐた。――最初のうちは、それでもまだ喜代一と嬢のトリックと考へて、まだ幾分不安の念が薄かつたが、數々日數を經てゆくに從つて、全で嘘だとばかりは考へられなくなつてきたのです。

多美枝自身でさへ時々は喜代一の戀に同情してこれも運命とあきらめ、そして喜代一の戀を容れてしまうかと考へることさへあるのだから、況して、移り氣な男のこゝろになつてみたらば、どこにゐて何をしてゐるかさへ分つたものではないと思つた。

自分との約を守つてゐることの馬鹿々々しくなることもあるに定まつてゐる。それもふたりが毎日逢つてゞもゐるのだつたら別のこと、かうして離れ〳〵になつて離るることさへ出來なくなつてゐるとしたらいつか自分との約束だつて忘れてしまふだらう。

それに、嬢は美人である上にかうした立派な家の娘であつてみると、志村としては自分なんかと結婚するよりもどんなに將來のためであるか分らないのだ。その一事を以てみても、全然、喜代一と嬢のトリックとばかりは考へられなくなつたのです。

それに、自分とちがつて、嬢は恐らく毎日のやうに志村を訪問してゐることだらう。そして、種々手段を用ゐて、志村を、自分のものにしやうとしてゐるに相違ない。

志村としても、遂ひに、其の手段に乘つてしまつて、恐らく嬢と結婚することになつたかも知れない。――かう考へて來ると、多美枝は、身體ぢうがやけたゞれて來るやうに思つた。

しかし、すぐ其のあとから、冷めたい理性が、再び彼女に戻つて來るのです。彼女は冷やゝかな喜代一の言葉を思ひ返して、そんな譯はない。志村にかぎつて、嬢と結婚するなんて絕對にそんな譯はないと打ち消してゐたのです。

けふ詔書御渙發記念日

酷寒を征服して 嚴肅なる捧讀式

多數名士ら約千名も參列 早朝神社境内で執行

けふ國民精神作興に關する詔書御渙發記念の十日は精神作興週間中の克己日とし、新京教化聯盟加盟各種團體、各學校などではそれぐ精神作興の行事が行はれたが、この日新京神社境内に於ける詔書捧讀式は新京地方事務所並に新京教化聯盟主催の下に午前正七時から盛大に擧行された、零下八度の酷寒にも怯げず集つた人々は川村總領事、武田横山地事正副所長、植田市總務處長、廣石警察署長らの名士を始め修養團、滿鐵社員會、國防婦人會その他一般市民約千名にも近く、定刻野村滿鐵社會主事の開式の辭に始まつて全員嚴肅裡に國旗掲揚と共に國歌奉唱つゞいて皇太神宮、皇居遙拜、神社參拜を終つて、武田地方事務所長兼教化聯盟委員長起つて、恭しく精神作興に關する詔書を捧讀した、なほそれより特別市公署植田總務處長の講演があつたが、植田氏は例の眞摯な態度で世界無比のわが國體について明治大帝の御製を引用し、約三十分間に亘り終始熱と力に滿ちくた講演を行ひ、參列者に多大の感銘を與へ同時四十分式を閉ぢた

早起會も盛況 誠忠碑前で

十日の克己日を迎へ市民早起會は午前六時二十分から西公園誠忠碑前で行はれたが、修養團を始め約百名參加八島小學校森田訓導の指導にラヂオ體操を行ひ、終つて明治會古賀氏の御製の奉詠並に謹解があり、同七時散會した

八島校父兄會 役員會附議

八島小學校父兄會では十一日午後三時半から同校會議室で役員會を開き左記議案を附議するはず

一、開校式及年度內の會計報告
二、役員補欠推薦の件
三、兒童の多季體育施設の件
四、その他

盛況呈した 雄羅線開通式

【羅津國通】日滿兩國最短交通路として三ケ年の日月を要し完成した雄羅線の開通式は九日午前十一時より羅津埠頭にて滿洲國李交通部、孫財政部兩大臣、大村滿鐵副總裁、牛島朝鮮總督代理、植田朝鮮軍司令官、鈴木十九師團長等の日滿要人一千餘名參列の下に盛大に擧行され午後三時閉會した市中は歡喜の坩堝と化して居る、尙李交通部大臣、大村副總裁は十日京城視察に向ふ豫定である

武道獎勵會 二十四日秋季大會

昇段級の手續もとる

新京武道獎勵會では八日午後四時から新京署樓上で役員會を開催し秋季大會開催その他に關し打合せをなした結果、來る二十四日午前九時より商業學校道場で擧行、試合方法は柔劍道とも團體、個人試合で團體は三段以下、內無段者二名を加へ五名とし同會贊助練士井上惣三郎氏より贈られた名刀爭奪戰がある、個人試合は段別無段者も含む、申込者は十八日までに新京署道場氣付柔道田中教師、劍道石橋教師宛申込まれたい、なほ本大會の成績を審査し昇段級の手續をとるにつき同好の士は奮つて參加されたいと

新京飛行隊 戰歿者慰靈祭

新京飛行隊の戰歿者慰靈祭は十日午前九時から開催、飛行場に設けられた祭壇を中央に關東軍司令官代理板垣參謀副長、聯隊長、東條憲兵隊司令官、川村總領事、長岡總務廳長、張外交部大臣、五十嵐在鄉軍人聯合分會長を始め同隊將兵、在鄉軍人、日滿國防婦人、その他一般有志多數參列、植村社司の祓式に始り、祝詞奏上、隊長の祭文朗讀、弔電朗讀、玉串奉奠など型の如く盛儀擧げられ十時過ぎ滯りなく閉會した【寫眞は飛行隊司令官の祭文奏上】

我等が人情總裁 けふ新京醫院慰問

兩脚のない驛員等に濺ぐ 感謝と同情の涙

人情總裁と謳はれるにいたつた松岡滿鐵總裁は十日午前十時三十分武田地方事務所長、塚本院長、稻川驛長加藤保線區長及び驛各主任を從へて滿鐵新京醫院を訪問、まづ高橋新京醫院事務長から院內の全般的な說明あり、同四十分から各病棟に入院加療中の公傷日、滿社員十五名を一人々々病室に訪れて塚本院長からそれぐ病狀を聽いて痛むか……婦子は何人だ……獨身者か……と一々患者に優しい言葉をかけて「後の心配はないからゆつくり養生し給へ」と慰め、患者は總裁のこの懇ろの見舞に

痛く感激し感謝の涙を泛べてゐた特に最後の二人兩側下肢轢創で八月一日から入院せる新京驛准傭員山田正志（二四）及び九月九日入院兩側大腿轢創新京驛連絡方志賀重太（二五）の兩君が兩足失くしてだるまの樣な姿でベットに坐つて足先をピクぐさせてゐるのを見舞つた時は人情總裁も胸を打れた樣にほろりと涙さへ浮べて

思ひやり　今後の生活については一つも心配するな、この松岡がどこまでも面倒見てやらうとこの深い有難い見舞の言葉には傍に立つ案內の醫院長、驛長なども深くお禮の頭を垂れ山田、志賀の兩患者はしばし白布に顏を埋め感謝の涙に咽んでゐた、慰問は約半時間にして院長始め驛長に「それぐ患者をいたわつてよく養生さして吳れ」と傳へて十一時十分ホテルにかへつた

感激の新京醫院

始めて總裁の訪問をうけた滿鐵醫院では感激して語る
總裁の懇ろの見舞の言葉で公傷社員も皆喜んでゐます私たちも總裁の言葉を拜し今後ともより以上業務に精出し各患者の治療養生に努めて總裁の意に添ふ樣努力します

掛賣金を横領して 雜貨商を開店

元ビクトリア使用人の惡事

市內吉野町一丁目ビクトリヤ菓子店元使用人高橋某は本年九月頃より滿洲國官吏消費組合に納入の菓子代約一千二百餘圓を横領したことこの程發覺、新京署に屆け出で所轄派出所にて高橋の行方を搜查中九日午後九時頃曙町に潛伏してゐるのを逮捕したが高橋は圖々しくも主家の掛賣代金を横領して曙町に雜貨商の店舖を開いてゐた、取調べにより相當餘罪あるものと見られてゐる

十五日から三日間 赤十字デー

新京の催物決まる

日本赤十字社は來る十五日から三日間に亘り赤十字デーを開催、日本內地、朝鮮、台灣、滿洲の各支部でも同樣それぐの催しがあるが新京支部の各種實施計畫は左の如く決定した

一、赤十字旗揭揚　第一日午前七時より三日間旗竿に大赤十字旗を高く揭揚す同表門には國旗と赤十字旗とを交叉して揭揚す尙表門の兩側板壁にポスターを揭げ注意を喚起せしむ
二、記念式擧行　第一日午前八時より職員一同玄關前に整列し記念式擧行第二日午後六時よりラヂオ放送を行ひたき希望第三日午後六時より平素社業上に援助を與へられある方を招待して祝宴を催す
三、街頭宣傳　バス又は自動車（數輛）に大小赤十字旗を樹立し車體の兩側に白金巾の張幕（赤十字の記章と赤十字デーと大書し）を繞らし後部にはポスターを垂下し樂隊の奏樂裡に支部職員及救療所醫員看護婦乘組み市街を巡廻し途上車內より宣傳マッチ或は宣傳書を撒布す
四、ポスター　軍衙、公署、學校、停車場、會社、市場、大商店、百貨店、常設館、俱樂部、圖書館、料理店、食堂カフエー旅館 湯屋、斬髮屋等に持參して揭示方依賴す
五、リーフレット　前項に準ず
六、赤十字貼紙　前項に準ず
七、講演　「赤十字の話」を各學校に送本して講演方を依賴す
八、施療券　日滿各警察署及福祉委員に配布して適宜賦與方依賴す
九、新聞登載　各新聞社に宣傳用諸資料を送り登載方依賴す
十、篤志看護婦人會ピン　同會員に依托して販賣の上其收益金を傷病兵慰問及遺族の慰問に充當す
十一、社員募集　此機會に於て社員新募に從事すべく職員奮起を促す
十二、各出張所に對しても前諸項の實施方を交涉す

滿洲國に憧れる朝鮮人に對しソ聯引止め

【ハルビン國通】當地某機關に達した情報に依ればソ聯邦國內極東居住の鮮人はソ聯の巧妙なる逆宣傳にも拘らず最近漸く滿洲國の國力擴充と同國民の安居樂業を知り脫出入滿を企圖するもの益々多く、之れが爲めソ聯當局は共產主義の普及化を企圖し之等朝鮮人に對する宣傳班を組織して牽制策に躍起となつてゐる

守島課長歸京

外相に視察經過を報告

【東京國通】我對支政策を在支出先官憲に通達する重要使命を帶びた外務省東亞局第一課長守島伍郎氏は十月十日東京出發上海、天津に於る總領事會議に出席し、右方針を說明すると共に今後の打合せを遂げた後滿洲經由九日午前八時半東京驛着列車で約一ケ月振りで歸京したが、守島課長は同日廣田外相に今回の視察打合せの狀況を報告した

臺灣福建間の親善飛行

總督府後援

【東京國通】臺灣總督府では施政四十周年記念として目下臺北で大博覽會を開催中だがこれが記念事業とし歷史的、文化的、經濟的に最も密接なる關係を持つ支那福建省との親善關係を更に緊密化するため總督府後援の下に親善飛行を行ふことに決し有吉大使を通じ目下南京政府と交涉中である、南京政府の正式許可は未だ到着してゐないが來る十五日頃に日本航空輸送會社の手で臺北、福州間二七五キロの新空路を開拓せんとするもので日支關係に鑑み頗る意義深き企てとされ、その成功を期待されてゐる

滿鐵顧問 キニー氏辭職

【大連國通】滿鐵外人顧問ヘンリー・キニー氏は今回任期滿ちて辭職したが、天皇陛下には氏が多年滿鐵並に廣く東洋平和の爲に盡した功勞を思召され勳三等瑞寶章を賜り滿洲國皇帝陛下におかせられても建國功勞章を下賜あらせられた、氏は夫人令息を同伴八日出帆の熱河丸で日本に向ひ更に米國に赴くが氏は南洋タチヒ島に廣大の土地を所有してゐるので今年末には同島に歸り靜かに餘生を送る筈である

東京優良商品展示會開催

東京市產業局では日滿經濟の緊密なる提携をはかるため曩に新京出張所を開設第一回事業として東京優良商品展示會を新京商埠地北大馬路三一平

けふ哈爾濱領警署で 殉職警官慰靈祭

【ハルビン國通】ハルビン領警署では十日午前十時モストワヤ日本民會公會堂に於て第五回殉職警察官の招魂祭を執行するが事變前の殉職者五名である

盛況裡に締切つた 本社の放送新人募集

テストは十二日午後六時より 放送局新スタヂオで

本社主催演藝放送新人募集は應募者殺到の白熱的盛況裡に愈よ本日をもつて締切るが應募者の詮衡は來る十二日午後六時より大同廣場前電々本社內新京放送局新スタヂオにおいて行はれることになつた、申込者は當日定刻までに參集ありたく、尙伴奏を要するものは當日必ず伴奏者を同道して出席ありたい。

滿洲國て少年少女紅十字會組織

滿洲國文教部學務司では全國學童として萬國少年少女赤十字社に類した滿洲國少年少女紅十字會を組織し非文明の學童を向上させるべく計畫し目下着々準備中で康德四年度から實現される模樣である、これが組織にあたつては各省師範學校教師男女生徒をして指導にあたらしめる同會の事業は

一、博愛思想の鼓吹
一、簡單なる醫學、救急法、看護法
一、他之の災害疾病に對する慰藉
一、衛生講演會電影會、展覽會慈善市等の開催
一、衛生思想の普及等である

慶應勝つ

慶法二回戰 2A―1

【東京國通】東京大學野球聯盟最終試合慶應對法政二回戰は九日午後一時半より神宮球場で法政の先攻で開始され二A對一で慶應勝つ

体聯新主事着京

大滿洲帝國體育聯盟專任主事に招聘された田中氏は十日午後二時着列車で體育關係者の出迎へを受け着任した

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇俚謠（イ）ヨサコイ節（ロ）はんや節（ハ）鹿兒島正調小原良節唄吉本はる外▲七・三〇日曜特輯ニュース演藝（東京）▲七・五〇ラヂオドラマ薩摩の丸彈（東京）作並演出

あす（十一日）

△八島小學校父兄會役員會 午後三時半同校內
△日滿商議團體聯合會臨時總會 午前九時會議所內

滿洲一の賣犬

東三條通滿鐵病院橫の新京犬猫病院に價格參千圓の賣犬があり多數の愛犬家より注目を引いてゐる、この犬は近來珍しい良犬で諸藝滿洲一、なかでも高飛は日本一と稱されてゐる程で一般からも非常な人氣を博してゐる

仙人掌

開花の千太郎姐さんが十日に引き祝ひの赤飯を配つた、斯界を去る人をこの欄に入れてはシッレイになるかも知れないが、昔々新京が長春と云つた頃▲しかも大正の頃からの古い姐さん、度々この欄の前稱ザックバラン欄でお馴染みの人であるだけに感慨深いものがあるので敢て本名野間カヅエさんの前途を祝福してこ引退のおよろこびを披露した譯▲ぢやアどこへ誰のところへなど野暮なことは問ふべからず

天氣と氣溫

明日の天氣　北西の風晴一時曇
日の出　午前六時二十七分
日の入　午後四時　十七分
月の出　午後四時二十四分
月の入　午前五時　七分
けふの氣溫　最高零下　二度三　最低零下　八度七

畑週報現物氣配

銘柄	拂込	最近配當	時價
第一五分利	一〇〇、〇〇	〇、五	一〇四、二〇
二回四分利	一〇〇、〇〇	〇、四	九八、七五
滿洲建國債	一〇〇、〇〇	〇、五	一〇一、五〇
朝鮮銀行	一〇〇、〇〇	〇、七	八〇、〇〇
同新	二五、〇	〇、四	一九、七〇
正隆銀行	五〇、〇〇	〇、四	三〇、〇〇
同新	二五、〇〇	〇、七	一四、五〇
同二新	一二、五〇	〇、四	七、〇〇
滿洲銀行	五〇、〇〇	〇、一	三〇、〇〇
同乙新	三七、五〇	〇、四	二〇、五〇
同丙新	一二、五〇	〇、四	七、〇〇
新京銀行	五〇、〇〇	〇、六	三五、〇〇
吉林銀行	一二、五〇	一、〇	一五、〇〇
大連五品	二〇、〇〇	越	一六、五〇
五品代行	一二、五〇	一、五	二三、九〇
大連豆新	一二、五〇	一、三	二二、〇〇
大連錢鈔	一二、五〇	一、四	一六、五〇
滿洲取引	一二、五〇	損	一六、八〇
新京取信	一二、五〇	越	一〇、五〇
哈爾賓交易	五〇、〇〇	一、二	×五〇、〇〇
同新	二五、〇〇	一、二	×二四、五〇
滿洲鐵道	五〇、〇〇	〇、八	六〇、八〇
同新	五〇、〇〇	〇、八	三五、八〇
大阪商船	五〇、〇〇	〇、五	五二、八〇
同新	一二、五〇	〇、五	一五、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	〇、五	六五、五〇
同新	一二、五〇	〇、五	二一、七〇
川崎造船	五〇、〇〇	[illegible]	二八、三〇
東京電燈	五〇、〇〇	〇、六	五四、五〇
大同電力	五〇、〇〇	〇、七	四七、八〇
同新	一二、五〇	〇、五	一〇、九〇
電信電話	一二、五〇	〇、六	一六、〇〇
同乙種	一二、五〇	〇、六	一三、一〇
滿蒙毛織	二〇、〇〇	〇、五	一六、六〇
奉天製麻	一二、五〇	一、〇	×一六、八〇
滿洲麥酒	二〇、〇〇	越	×二八、五〇
東洋拓殖	五〇、〇〇	越	三六、五〇
同新	二五、〇〇	越	一五、四〇
滿洲興業	二五、〇〇	〇、八	二四、四〇
東亞土木	一二、五〇	一、六	一一、〇〇
周水土地	一二、五〇	越	三、〇〇
協和建物	一二、五〇	〇、八	一三、〇〇
新京建物	五〇、〇〇	〇、五	三二、五〇
東滿パルプ	一二、五〇	越	九、五〇
滿洲パルプ	一二、五〇	越	一二、一〇
北海製糖	五〇、〇〇	〇、七	四七、五〇
人造肥料	四〇、〇〇	〇、七	四〇、〇〇
滿洲化學	二五、〇〇	越	×二九、五〇
日清油新	一二、五〇	越	八、六〇
日滿アルミ	二五、〇〇	〇、四	四、八〇
滿洲工廠	二〇、〇〇	〇、八	二〇、八〇
鞍山鋼材	一七、五〇	越	九、七〇
滿洲セメン	一二、五〇	越	六、三〇
太陽産業	五〇、〇〇	〇、四	一、五〇
東亞煙草	五〇、〇〇	一、〇	七五、五〇
同新	二〇、〇〇	一、〇	三五、〇〇
滿洲煙草	一二、五〇		八、五〇
大連氷新	一二、五〇	一、二	二一、五〇
大連機械	二五、〇〇	一、五	四〇、八〇
滿洲ペイント	一二、五〇	一、五	一三、五〇
東京地下鐵	三五、〇〇	〇、四	二〇、七〇
同新	五〇、〇〇	〇、四	一五、五〇
日魯漁業	五〇、〇〇	一、二	五六、八〇
同新	二五、〇〇	一、二	二八、三〇
大陸窯業	五〇、〇〇	越	六、五〇
東省實業	四〇、〇〇	損	一六、〇〇

あすの番組

（M・T・Y 新京放送局）十一日（月曜）

（朝）

六、三〇　建國體操（滿語）
六、五一　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　入港船の御知らせ（大連）　氣象通報
七、一五　「滿語講座」臨時休講
七、四〇　初等日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
八、一〇　朝の音樂（大連）
八、三〇　經濟市況（東京）
九、〇〇　早晨演奏
九、二〇　料理獻立（奉天）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　家庭講座　育兒の知識（三）　鈴木病院々長　鈴木紀

（晝）

一〇、二五　家庭メモ
一〇、三五　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇〇　ニュース（東京、引續き新京）
〇、〇一　經濟市況（大連引續き新京）
〇、二〇　晝の演藝
〇、四〇　建國體操（滿語）
一、〇〇　白天演藝（哈爾濱）
淸唱　六月雪　唱　呂升三　胡琴　李秀山　南絃　夏文魁　鼓　陳慶元

一、二〇　ニュース（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）　引續き　日用品値段（滿語）
二、二〇　成人講座（哈爾濱）　士農工商孝道的區別　萬國道德會濱江總分會　倪春濤
二、四〇　下午演奏（東京）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連、引續き新京）
三、五〇　ニュース（鮮語）
四、三〇　ニュース　引續き　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（哈爾賓）
五、二〇　コドモの新聞（東京）　村岡花子

（夜）

五、二五　氣象通報　番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　今晩の番組
六、二五　官廳公示　政府公報（滿語）
六、三〇　講演（滿語）　關於燈火管制演習　新京特別市公署教育科長　馬顯異

七、〇〇　女聲合唱　―大阪桃谷演奏所より　大阪放送合唱團　ピアノ伴奏　橘靜雄　指揮　福喜多鎭雄
七、二〇　漫談と物眞似　猫野三毛男（東京）
七、五五　浪花節　次郎長と玉吉　木村友忠（東京）
八、三〇　時報　ニュース（東京）
引續き　ニュース
八、四五　ニュース・經濟市況　氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇　舊劇（哈爾賓）　黃鶴樓　唱　李虞釣　于天輔　葉長靑　崔監田　馬一釣　外五名　場面
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）

大阪放送合唱團の……女聲合唱・五曲

【後七時】

大阪桃谷演奏所より中繼

ピアノ伴奏　橘　靜雄
指　揮　福喜多鎭雄

一、祝歌（昭和の御代に寄す）

犬童球溪作詞　ワグナー作曲　橘靜雄編曲

新なる御代の光りに山々は緑色そひ、見渡す四方の海風も和みて浪もたゝず、見よ東の空を染めて、長く憾く紫の雲めでたく、聞け高く舞ふ鳥の歌を、千代に八千代と君祝ふ聲ものどか
日に月に年々に止まらず進むよ國の榮譽、國の威光、夜晝に朝夕に身にあびて安けし、君が惠、君が御稜威讃へや君が御稜威仰げや國のひかり
新なる御代の光りに山々は緑色そひ、めぐらす四方の海風も知みて今は磯うつ浪もたゝず、あゝ歌ひて舞へや幸福ある國民、あゝ山も笑ひ、あゝ河も笑ふ、あ！。

二、昭和の日本

水田詩仙作詞　ウィリアムス作曲

神代ながらの、瑞穗榮ゆる國山の幸めでたく、海の幸みてり、あゝ我がうまし國、み惠あまねく、あゝ我が大君、朝日と輝き、民草靑く榮え、仰ぎて神と稱ふ、あなたふと、あなかしこ、西に東に日の御旗かざす、御船到らぬ海原もなし、御稜威の光は、外つ國々、上にも著く、輝きまされる、今こそ昭和の御代、內外に榮えはゆる、あなたのしあな壯々し、つとめよ、はらから、此の國、此の君、類もあやなす、文に萬の技藝に、陸に海路に、勵み努めよ、我が同胞

三、舊都

犬童球溪作詞　モーツアルト作曲　橘靜雄篇

三笠の山には、幾秋變らぬ月ぞ昔をうつせど、玉の宮居いづこに今は仰がん。
長等の峰には、幾春變らぬ花ぞ昔を語れど、玉の高樓いづこに今は仰がん。

四、よろこび

葛原しげる作詞　弘田龍太郎作曲

胸の海の、潮ざゐはどよみ、心の絃高鳴り、おちな、永劫の歌はなりぬ、うまし歌や、天懸る琴も大鼓も、音に合ふよ、天地の樂人達よ、みな集へ、集へ歌へ、御使鳥黃金翼して、胸の鼓を叩き、常若御苑の歌、傳へぬ、白銀の宮殿さらゝ樓、宴うつ八少女の、ほこりか管絃の音、天降りきぬ胸に

五・歡喜

一條和泉作詞　グルック作曲　橘靜雄編曲

歡喜は今われにあり、胸は高鳴る紫の雲空に滿ちて、鳳凰の翼うちかふ、いでやうたはん
朝日と輝く我大君の、御代を讃へん我等民草、ときはかきはに
御稜威の光は四方を輝して、御旗たなびく高く淸らに、高く淸らにあゝうまし國日の本大君の惠あまねし、あゝ祝福へかし、歡喜うたはん

浪花節　次郎長と玉吉

木村友忠・演

【後七・五五東京】

木村友忠さん

次郎長と黑駒の勝藏の間に小安の森で出入りがあつた。三州御油の宿の玉吉といふ若い者、男を上げるはこの時當つて碎けろと手甲脚絆に草鞋ばきで白井宿の雲風家を訪れ、主の龜吉に賴んで勝藏に逢ひ此處の出入りは自分にまかしてくれと云つたが、すげなく斷られる。腹立まぎれに勝藏の惡口を吐いたところ、勝藏は玉吉の度胸に感じて萬事まかしてくれる。
そこで寺尾に赴いて次郎長に賴むと信州松本在岡田村の治右衞門の一粒種次三郎を手にかけたのが黑駒の勝藏、伜の仇を討つて下さい親分と、治右衞門に賴まれたからにはどうして手打ちが出來やう。人の仲人に立つ時は前後の事情を調べてからしたがよからうと云はれる。聞いた玉吉は驚いたが元より義侠に富んだ性分なめた野郎は勝藏だと次郎長始め居合した、大政、小政等と共に雲風宅に乘り込むといふ一席

猫の泣聲がお上手

猫野三毛男の漫談と物眞似

【後七・二〇新京】

猫の泣聲がうまい所から會社員から漫談の方に轉向した變り種。
本年五月十九日宮城二重橋前を自轉車で皇軍慰問の爲め滿洲に向け出發、釜山、京城、元山、羅南、會寧を經て上三峯より滿洲に入り新京に八月十日着、こゝで自轉車を捨て奧地全部の討伐隊の慰問を終へて再び新京に來られた人です【寫眞は猫野三毛男さん】

シルベスタ・スクールに學んで（新京にて）

日本舞踏教師協會　山市太平氏談

物事の本質的な意義や理想の境地といふものは、常に難しく複雜化されてゐるものではなく、遠い又容易に到り難い處に在るものでもありません。

私がボールルーム・ダンスを英國に學び、短い乍ら其處のダンス界の一隅を瞥見して來て、最も自分の信念に打込まれた生涯に印象し記憶さるべきことは、この理想と意義に就いてであります。

ボールルーム・ダンスは彼地では生活の一つの糧として尊く立派に扱はれてゐます。

私達はいろいろに歪曲され勝な吾國のボールルームダンスを回想して、吾師ビクター・シルベスタ教授の嚴然たる唱句を親しく耳にしながら、ボールルーム・ダンス、正に男子一生の事業として足る、と心中深く決するものがありました。

『ボールルーム・ダンスは立派な人格を以て、優美高尙即ち上品になすを理想とすると共に飽くまで、自然に（無理なく）婦人に對する敬愛心を以てジエントルマンライク（紳士的）にすべき事』

此のシルベスタ教授の言葉は、よく英國に於けるボールルーム・ダンスの本質を喝破し、その理想と意義を明確に要約して居ります。

吾國のボールルーム・ダンスは近代生活の一つの生活形式です。ですから當然生活に於ける理想と意義が、そのまゝ正しくこれに反映されなければならぬことは、敢て贅言を要さぬことでせう。

高尙なる情操と明朗な感覺と、―この二つのものを魂としてボールルーム・ダンスを樂しむとき、茲に理想と意義如何の曲折も必要としません。

私はシルベスタ教授に接し其の他多くの名舞踏家を觀察してボールルーム・ダンスの何ものなるかを深く悟るところがありましたこの悟りこそ理に悟るものではなく、心に悟るべきものでした。

英國に渡り日本ダンス界への贈物として、私の貧しい家包のうちに、この一つだけは私自身光榮を以て語り得るものであります。

英國に於けるボールルームダンスの技術的訓練は、先づ姿體美をつくり上げるところから始まります。彼地の舞踏家は自己の義務觀念から、この目的の爲めに吾國では想像もつかぬやうな努力を盡して居ります。

ステップの細い技巧やヴァリエーションの記憶數にのみとらはれてゐる悲慘な『技術家』とゆうものは一本立の舞踏家とは申せません。立派なバランスのとれた體格を第一條件に、體育解學によつて鍛錬し力學の法則を研究しこの道程の上にのみ、ボールルーム・ダンスの技術への道が拓かれるのです。

シルベスタ・スクールは三段制のレツスンを採つてゐます。先づムーヴメントの練習をしムーヴメントが完全になつてからフーガーにかゝります。この期間は、ダイアグラムの採用は相當嚴格で、廻轉角度なその問題も綿密に研究されます。

第三段でヴリエーシヨンの驅馳に入り、各個人の特性を主にして無碍な舞踏美を仕上げるのです。

ですから、教師團體加盟のメムバーの技術資格も非常に高く、正會員の如きは六ケ年以上の教授經驗を必要とされてゐる狀態です。

吾國のボールルーム・ダンスの技術的傾向に關して忌憚なく云ふならば、表現の解釋に大きな研究の餘地を殘して居ると考へられます現在の踏風は非常に生硬そのもので、死せる形式主義そのものの感を新しくします私がシルベスタ教授に指彈された如く『ダンスではない、體操だ』とは敢て私自身の鈍才にのみ適合した言葉でせうか吾國の踏風を批判してシルベスタ教授の批判に任せたなら、―と考へずには居られません。

ボールルーム・ダンスは他の諸藝と同じく、基礎的修練の完成が第一義的なものであります。ウオークのみを以て一ケ月近いレツスン―私はシルベスタ・スクールのこの一ケ月が、私の舞踏人としての一生を如何に支配するものであるかを識ることが出來ました。

ブック・ダンシングの悲劇なぞといふ文句を最近發見しました。

書物萬能主義によるボールルーム・ダンスの技術的破綻は當然のことです。然しこの「悲劇」は決して吾國斯道の發展の上で全然意味のないことではありません。書物を萬能視せざるを得なかつた過去の條件が、今日の吾がダンス界を支配してゐたのですから

ボールルーム・ダンスのムーヴメントのエスプリは到底足型の記述によつては會得されるものではなく、技巧の要領も口や筆で表現を許されるべき性質のものではないのです。

特に音樂と動作との聯關性とその表現樣式に至つては唯名手の實技に接し之を體得するより外にめりません。

私はシルベスタ教授の著書に親しみ、この著書を通してシルベスタ教授の踏風を學び、そのスクールの門を叩いて始めて識つたことは、著書のフイガー說明と足型とが實際に踊つた場合に於て全く異つたものになつて仕舞ふ事實でした。私を驚愕させ困惑させたこの事實――私は呆然としたまゝ、漸く一切を理解したのです。――眞實のムーヴメントとは書物の活字や足型の到達する遙か彼方に存在するものであることを。

書物に傳へられ說かれてゐる事象は決して錯誤ではありません。然し書物の表現通り書物の表現にのみ準據して踊つても、それが一切を盡したものではないのです。寧ろ全然別個のものとなつて仕舞ふのは動作の自然性、といふことが、固定した文字の表現の埒內には盡され得ないからであります。

ボールルーム・ダンスがムーヴメントに於ける自然性と必然性を要諦とする以上、ブツクダンシングの悲劇は書物の表現を如何に解釋すべきかこの解釋の方法上の鍵を握ることによつて、終幕の機會を望むことが可能となるでせう

私は「悲劇」を嗤はない。この「悲劇」も一つの必然の道だつたのです。そして『喜劇』が悲劇として認識された場合、人生の多くの局面と同樣に、吾ボールルーム・ダンス界も一つの偉大な飛躍期に入つた證據であります。

私の歸朝が、この秋に當り果してソクラテスの云ふた如く、『好機は價値を二倍にする』ものか、微力を傾けて斯界のランク・アンド・ファイルたらんと決意する次第であります。

日曜特輯 海外異聞(あちらのはなし)

心臓が腹に喰はれた！

黒海の東岸に近いクタイス町で小學兒童の體格檢査をやつた際はからずもケー・オタールといふ今年十歳の少年の心臓が腹部に移動してゐることが發見され、醫師仲間は勿論町中の大評判となつてゐる最近では心臓の鼓動が外部から肉眼でもはつきり判る位ゐになつたといふ。

然し當のオタール君は心臓が腹にあるといふだけで別に苦痛も覺えず身體の他の部分も至極健全なので一向平氣で毎日學校へ通つてゐるさうだ

アル・カポネの慈善事業

ギャング華やかなりし頃、嘗てはシカゴ暗黒街の大親分であり、今は十一年の刑期をアル・カトラッの刑務所で送つてゐるアル・カポネの獄中近況が近く死刑を執行される一囚徒の口から語られた、此死刑囚はメイといふ男で殺人罪のため近日中に電氣椅子に乘せられるのだが、過去十ケ月間獄中常にアル・カポネと起居を共にして來た、そして今ではカポネの絶大な讃向者となつてゐる、メイは曰く「獄中のカポネ親分は少しも傲慢なところがなく、寧ろお人好しのように見える位でさあ、今ではアルカトラッ監獄の囚人がみんな親分に好感を寄せてゐますよそれにカポネ親分は刑務所の中で色んな「慈善事業」をやるんでさあ、親分はね一千二百五十弗を投げ出して監獄の中に一囚人ジャズオーケストラ團」を組織したり、そうかと思ふと大枚四千弗をポンと投げ出してやはり囚人のためにテニスコートを作つてくれやしたよ、やはり大親分ともなれば違ふものだね」

死人歡迎？

フランスが近年顯著な人口減少を示しつつあるのは周知のことだが今年に入つてからもその出生率は更に降下の一途をたどつてゐることが判明し心ある人々をして非常に憂慮せしめてゐる、即ち一九三五年度一、二、三月の間の出生人口は、一九三四年間同期の出生人口より一萬三百人の減少を示し他方、死亡者數は一萬八百人方增加し、出生數を凌駕すること三萬三千人となつてゐる。

强盗の町！

最近パリ市當局から發表された統計によると、七、八兩月中を通じパリ市内外では强竊盗事件がナント千件以上に上つて居る、その中被害の種類からいふと

住宅が　六百四十六件
商店が　三百三十七件
ホテルが　百十四件
劇場が　四十五件

となつてゐる、之に對して警察で犯人を擧げたのはこの中二百五十三件で然もこれらは何れも現行犯ばかりと云ふからパリの警察はあまり有能とは言ひ得ないようだ。

黒い女は白人がお好き ジョセフィン・ベーカーの場合

エロとグロの黒人舞姫、ジョセフイン、ベーカーは今回の伊エ戰爭について定めしエチオピアに應援すると思ひきや、意外にも彼女はムッソリーニ首相の絶大な讃仰者であることが判明した。

一つには彼女の夫ペピト・アバチノ男がイタリア人であるせいもあらうが、彼女はイタリア軍の遠征を支援する理由として、次の樣に語つた。

「ハイレ・セラシエ皇帝は全有色人種の公敵です、何故なら皇帝は未だにエチオピア國内に奴隷制度を保持して居るからです、ムッソリーニ首相は其奴隷制度を絶滅させようとして遠征軍を起してゐます、出來ることなら、私もイタリア軍に參加して今度の遠征を助けたい位です、私は全世界の黒色人種に向つて、若し彼等がムッソリーニ首相に反抗するならばそれは自分達黒色人種の救援とは正反對に奴隷賣買商人のお手傳ひをしてゐるに過ぎないことを知らせてやりたいと思ひます、私は世界中を旅行してムッソリーニ首相は我等の友である事を全世界の仲間に知らせてやる積りです

新刊

キング（十二月號）

◇早川雪洲が自作の戯曲「四海の光」をキング十二月號に發表してゐる。十二月には東京日本劇場に上演されるといふ五幕もの、堂々たる大作である◇大釋尊劇と銘打つてある通り、釋迦の一生を主題としたもので頗る大がゝりだが感心されるのは、雪妙がこの方面にも相當勉强してゐるらしい跡の見へることだ◇武者小路公共氏の「外交土産話」の滋味は道がだ。霞ケ關の風流公使の感覺が、話のどの方面にも漲つてゐる。◇新聞記者特ダネ手柄くらべー特輯中の快篇だ。「名優を語る座談會」と相並んで含蓄ある問答をもつ好一對である◇意外に面白く讀めたのは「評判どころ噂の家を覗く」東京市の異色ある場所を片端し探訪したもの、興味深い點で一流圏内る入れてよい。◇創作欄も相變らず賑やかな上に讀切小説傑作選五篇も、新人の力作で大に光を放つてゐる。

講談倶樂部 十二月號

◇創刊二十五年の年末號を出した講談倶樂部は、道がに老舗らしい貫祿を見せて、文字通り本年掉尾の大内容を示してゐる。◇アメリカの富豪と祇園の歌妓の間に咲いた艶話としての「モルガンお雪」を長田幹彦の筆で再現したたゞこれだけでこの一冊は壓卷を得たりといへる。◇しかも、菊池寛の「戀愛白道」吉川英後の「地雷也小僧」がいよく面白くなつて來た。佐藤紅綠の「大風の歌」眞山青果の「德川千姫」が最高潮場面を展開した。◇新載中にも、岡本綺堂の「川越次郎兵衞」―半七捕物の醍醐味ある好篇だ。◇始めと終りは常につながつてゐる。今年の終末號がこの出來では、次號新年號の内容も蓋し想像に難くない。◇序だからレビューファンにお知らせするが、この十二月號には寶塚のジョセフインベーカー橘薫の生立ち物語が、非常な人氣を呼んでゐる。

眼は解剖學上腦の一部だ！
眼の障害は忽ち腦に反映する

眼を愛護せよ 視力を增せ
健康な瞳こそ幸福の母胎だ！

疲れた眼に病める眼に休息と榮養を與へよ！

□眼と腦の關係□

解剖學上眼は腦の一部と見做されて居ります。從つて眼の障害は直ちに腦に影響を及ぼし、腦力の低下、神經系統の異常を招來します。即ち眼と腦は宛も車の兩輪の如く密接な關係があります。それ故眼の健康を增進することは、頭腦を明澄にし、生活能力を擴大強化する所以であります。

□近代生活と眼□

しかも華かな近代生活は一面に於て怖るべき眼の酷使を強要します。過酷な讀書、堆積する事務、不潔な室内の空氣、雜踏する市街渦巻く砂塵と煤煙。それはいやが上にも眼を疲勞、混濁せしめ、視力を衰へさせます。一朝眼の衞生を怠れば、忽ち不快な眼疾に冒されて生活的に敗殘の憂き目を見なければなりません。

□罹り易い眼疾□

眼の酷使、塵埃、強烈な光線が原因となる眼疾の裡最も多いものは加答兒性結膜炎（はやり眼、やに眼、ち眼、はれ眼）と角膜炎（星眼、霞み目、たゞれ目）であり、又劇務、讀書等からは例外なく眼精疲勞の傾向を持つに到ります。そして眼が充血したり、ゴロゴロしたり、眼脂が澤山出たり、視力が減退して、遂には腦の働き迄も減殺されます。

□正しい眼科藥□

從つて吾々は眼病と否とに關らず、常に眼の衞生と保護に注意し、眼疾を豫防すると共に、進んで視力の強化を圖らねばなりません。スマイルは眼科藥として最新の處方と内容を具備し、殺菌、防腐、收斂、健眼の各作用に優れ、一劑よく眼疾の治療と豫防に奏効し眼の疲勞充血を去り、且瞳の明朗化に快適な効果を齎らします。副作用や習慣性を起す古い眼科藥とは自ら選を異にして居ります。安んじて御愛用下さい！

容器の優秀性

精巧微妙なる藥液の性質を至純に保ち變質を防ぐ爲瓶に特製硬質ガラスを用ひ口栓グツタペルカを使用！

その科學的完全性に加ふるに新式自働點眼裝置の至便さとスマートな形體美を具備す！

眼を活かし・眼を護る・高級眼科藥

スマイル

◇二十五錢 ◇四十五錢 ◇一圓

全國藥店百貨店藥品部にあり

總代理店 玉置合名會社

東京市日本橋區本町
大阪市東區瓦町三

映画と演藝

情熱の舞姫 マヌエラの待望

從來世界的舞踊家で滿洲を訪れたのは、數年前サカロフ夫妻が大連に來たことがある計りである。私は大連市民のあの時の熱狂振りを今でも想起する、協和會館の座席券は賣出し後一時間にして賣切れとなり、場內は文字通り立錐の餘地なく、もう立つても見えないからと、斷つても〳〵尙入場を强要する客が絶えなかつた。そして始めて見る西洋舞踊の神品、名人の至藝に滿場只醉はされたるが如く、一齣毎に感激と絶讃の拍手が嵐のやうに起つた。其の後暫らくの間は市中至る所、サロンに、ホールに、ロッピーに話題の中心は常にサカロフだつた。

あれ以來クリステイーナ、アルヘンテイーナ、テレヂーナ、ゲナドナスと、次ぎ〳〵に日本には名舞踊家が訪れたサカロフ夫妻も二度目の來演をしたが、不幸にして滿洲へは一人も足を踏み入れなかつた。況して我が新京は世界の舞踊界に於ける全くの處女地として今日に至つてゐる。其處へ突如として西班牙の舞姫デル・リオが來演すること〻なつたのは、全く新京否滿洲國藝術史上に一新紀元を劃すべき事實であり、恐らく嘗て大連にサカロフ夫妻を迎へた時の感激を繰返すこと〻信ずる。

デル・リオに就ては既に本紙に數次紹介せられたが、由來西班牙には其の文化を代表するものとして舞踊があり、國技として闘牛がある。此闘牛は漸く衰退の傾向を辿らんとし、舞踊亦昔時の光彩を失はんとしつ〻ある時、デル・リオは彼の夕空に輝く明星の如く、純粹の西班牙舞踊の特傳統を繼承する第一人者として斯界に君臨し、彼女あるが故に西班牙舞踊の權威未だ落ちずと云はれてゐる。

デル・リオは歌で名高い西班牙カタロニ地方の首都バルセロナの生れ、始めバルセロナの歌劇場リセオ劇場の第一舞踊手となり、後巴里に移りシャンゼリゼエ劇場其の他を根城に活躍するに至つて、忽ち巴里隨一の人氣者となり、嘗ては巴里舞踊界の大立物として昨年日本へも來たテレヂーナ等の盛名をも遙に凌駕するの勢ひを示してゐる。

由來南歐の女は情熱的であるが、デル・リオは特に若さと美貌と情熱とで有名である。其の深味のある瞳は寶石の如く輝き、紅い官能的な唇は燃ゆる情熱を語つてゐる。肢體は昨年來朝したアルヘンテイーナの如く高くなく、グラナドス程に肥滿せず、引締つた肉體は處女の感じを發散し、それから享ける潑溂味は觀る者をして恍惚たらしめると言はれてゐる。嘗て日本の有名なる藝術批評家はサカロフ夫人を活きて動く歌麿の浮世繪だと評したが、デル・リオこそ最も適切に此の比喩が當るだらうと思はれる。

デル・リオの森の泉を思はせる深味のある瞳から、クリーム色の肌から、そして其の技巧の極致に達した舞踊から享けるものは、典型的な「西班牙」の感じである。ピレネー山の彼方カタラニア人ヤマングルーガ人、ヤアラゴン人や其の他色々の人種が融合して形成された西班牙民族は民族として最も複雜なる性格を持つ。彼女は之を完全に表現し其の身を以て母國西班牙の姿を描く。偉大なる性格的舞踊家として、現代彼女の右に出づるものはないと稱せられる、恐らく來る十九日新京公會堂に於ける彼女の『ホタ』の巧みなカスタネットの捌き方は吾等をして充分に西班牙情調を味はして呉れるであらう。

（眞殿生）

大學を出た若旦那

東京發聲、「乾盃！學生諸君」に次ぐ重宗務の作品で、八田尙之の原作脚色になるもの、「大學を出た若旦那」といふのは仲々意味のある題名である、「大學」におさらばをした若旦那が、これからどうなつてゆくかは色々と興味のかけられてゐるところである、皆んながらうけ容れてくれるか、どうか、とに角この一本は見逃し出來ないものがあらう、主演者は藤井貢の外に逢初夢子市川春代、山口勇等、キヤメラは持田米彥、本月下旬新京キネマ上映、スチールは藤井と市川

雜音

本社主催演藝放送新人募集もいよ〳〵本日をもつて締切つた、限られた種目ではあつたが應募者豫期以上に多く、この企畫の大きな反響を證左してくれた、早々日を期して詮衡が行はれる筈であるが、輝しい新人の第一聲こそ、吾々の大きな期待をかけて待ちもうけるものである▲カフエー演藝大會賑ふ、凝り回を追ふて好みが偏し、應よしすぎてきた感あるは一應されど大衆にアッピールする力がなくなつた▲映畫戰線暗雲低迷のうちに沈默す、豐樂劇場ではパ社作品五十本を契約したとの巷說あり、帝キネまた策を練る、鬼が出るか蛇か出るか、面白い哉！

今日の演藝街

△長春座—十日まで、結城一朗、阪東橋之助の「野狐三次」夏川大二郎、山田五十鈴の「父歸る母の心」チイフランシスの「五十六番街の家」「永久の愛豫告篇」
△新京キネマ—十二日まで、大河內傳次郎の「千兩礫」中野かほる、井染四郎の「望鄉の唄」山路ふみ子の「女性陣」
△公會堂—十日限り、市內カフエー演藝大會三日目

撮影所だより

▲川手二郎監督「曉の麗人」製作應援參加 新興東京大泉移轉記念作「曉の麗人」に文字通り全新興のオールスターを動員した未曾有の大作だけに、互匠曾根千晴監督以下仲倉、用丸兩監督共々、全精力を傾倒して仕事に邁進してゐるが、今度更に、新興の新鋭として囑望されてゐる川手二郎監督を起用、應援監督として製作スタッフに參加せしむる事となつた

九星

月曜 十一月十一日 舊十月十六日 辛卯 先勝 定 張宿

●一白の人　溫情を以て人に接し事に當り猛威を戒む日　乙と丙と丁が吉
●二黑の人　目前の苦境さへ切り拔くれば後々は安らか　辛と壬と癸が吉
●三碧の人　自由を欠き諸事穩かならざる不安の日注意　甲と卯と乙が吉
●四綠の人　手を連ね步みを揃へて共に進めば不安無し　甲と乙と丁が吉
●五黃の人　誘惑を排して自己の信念に向ひ勝利を占む　庚と壬と子が吉
●六白の人　辛棒すればする程幸福も太り一家は益安泰　辰と丁と庚が吉
●七赤の人　自尊心强く剛慢なる時は災禍身に及ぶべき日　辰と丙と壬が吉
●八白の人　好機自ら廻り來りて活躍に良好なる盛運日　未と庚と子が吉
●九紫の人　災禍は內に凶害は外に潛伏する不安なる日　甲と辛と丑が吉

居住消息

▲久木吾一氏（滋賀縣）山吹町二丁目四番地へ
▲大竹七三郎氏（靜岡縣）撫順から同
▲瀨戶貞治氏（大分縣）瓦房店から同
▲小笠町貞男氏（北海道）同
▲中村里雄氏（和歌山縣）錦縣から曙町四丁目一番地脇坂ビルへ
▲花田矢一氏（鹿兒島縣）新站から錦町二丁目九番地ノ三へ
▲佐藤峰雄氏（大分縣）吉野町一丁目二番地隆泰公司へ

轉居

▲園田久吉氏室町から花園町三丁目三十三號ノ四へ
▲田古部都氏朝日通りから露月町四丁目二番地へ
▲小林恭氏日出町から奉天へ
▲楠本實彬氏室町から曙町四丁目一番地へ

誰が殺したか

國枝史郎氏外二　龍造寺瞻畫

二四　第二の殺人　九四

その意外なことゝいふのは、かうである。

咲山は、春から、房枝子と、戀愛關係におちいつてゐた。

富枝子は、そのことをよくしつてゐた。

「なにかあなた、僕に用事があるとおつしやるんですか？」

咲山は、相對して坐りながら、なにげなくかうきいた。

當時、もうすでに、伯爵夫妻や房枝子などが、鎌倉へ移つたのちのことゝて、邸内は森閑として、ほんとうに、なんの遠慮もいらない、二人だけの世界であつた。

「用事といふのは、アノ……」

これだけ云つて、富枝子は口ごもつて、緊張した顔を、ほんのり赤くしてうつむいた。

それから、富枝子はそれ以上いひ出さうとすれば、感情がたかぶつて、苦しいといつたやうに、うつむいたまゝ、しばらく、もじもじしてゐたが、やつと、意を決したやうに、はげしい苦悶のなかから顔をあげた。

「わたし！咲山さん、お願ひがあつてよ。きいていたゞけませんか？」

「サア、どんなことですか？」

「わたし、思ひきつて申上げますわ。わたし、もう、どうしても死ぬよりほか、しかたがないと思つてゐますの」

「それは、どういふわけですか、だしぬけぢや、わかりませんが、なぜ、死ぬよりほか道がないとおつしやるのです？」

「さうぢやないでせうか、わたし達、三年このかた思ひつめてきたかたは、だつて、わたしの、たつた一人の妹の……！」

これをきいて、咲山は、ギクリと、なにか胸に刺されたやうなきがした。

「それは、僕らのことですか？、ごぢやうだんをおつしやるんぢやありませんか？」

「いゝえ！わたし、ぢやうだんなぞ、言へる女ぢやありませんわ！わたし、あなたが、房さんとあゝなつたとき、それは、どんなに驚いたでせうか、そのときも、死なうかと思つたんだけれども、生きられるだけは生きやうと思つて、これまで、苦しんで、それは、苦しんでたゝかつてきましたわ」

「さうでしたか！僕はちつとも知らんのです……」

「ごもつともですわ……わたし、房さんを、それは、それは、愛してゐるのよ、だから、どうしてもわたしの戀は、房さんにゆづるのはほんたうよ！今になつてみると戀しいことなんか、ちつともありませんわ！一日もはやく、一日もはやく、わたし、この世からきえて、房さんの戀を成就さしたいわ。わたし、その願ひにもえてゐるのよ」

「で、僕は、どうすればいゝのです？」

「あなたにお願ひしたいのは、わたし、苦しまないで、眠つたやうに、死ぬ方法なの……」

咲山は、慄然としてめを瞑つた。

「僕が、そ、そんなことを、どうして敎へられるもんですか！」

キツパリとことはつた。

すると、富枝子は、うらめしさうに、涙ぐんだ目で、じつと、咲山の顔を見入つた。

（この篇今野賢三作）